

ORION

冷熱と真空でイノベーション

# 排熱回収ヒートポンプ

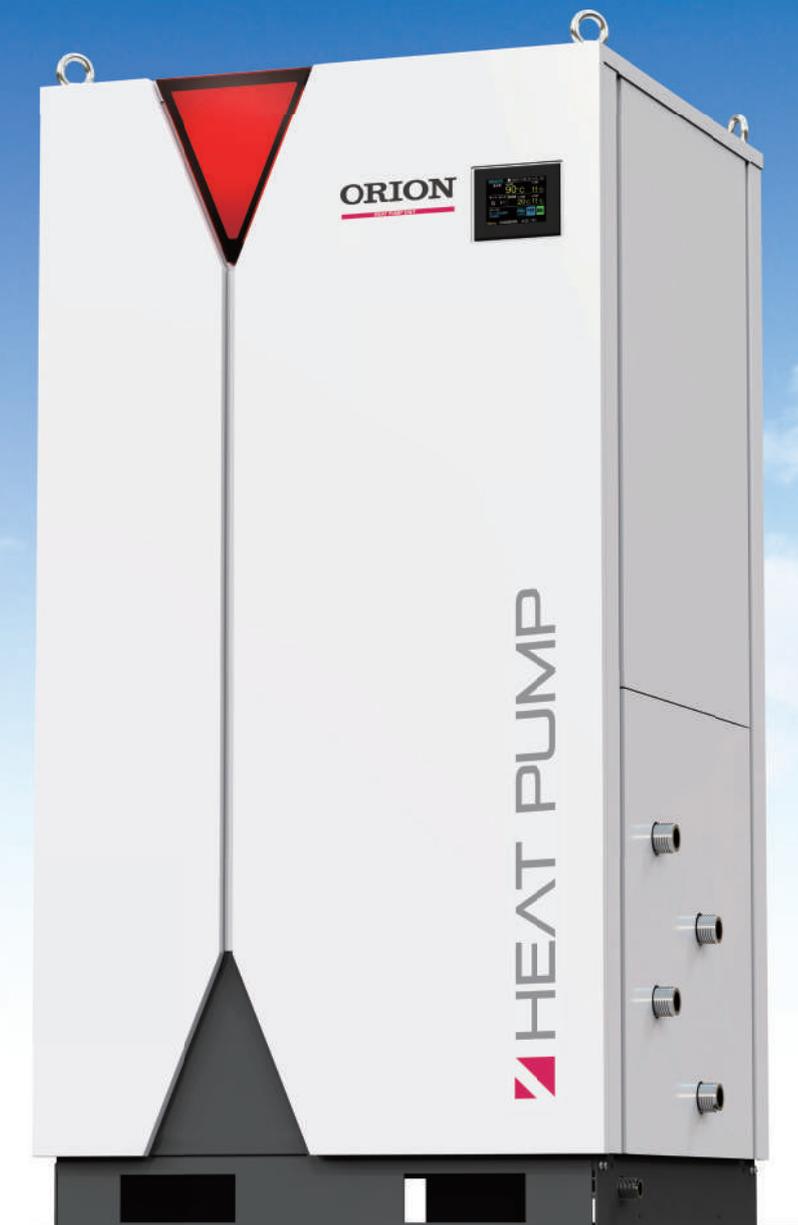
低 GWP・不燃性冷媒 R513A 採用 DHP24A-W/48A-W

## 電気ヒーターやボイラーの 置き換えに！

使われていなかった排水の「熱」を有効利用し、  
ランニングコストと CO<sub>2</sub> 排出の削減に貢献！

**加熱能力****24kW****48kW****2機種ラインナップ****温水出口温度**

最高出湯温度 90°C

**90°C仕様**

# 使われていない排水熱を ランニングコストとCO<sub>2</sub>排出削減に貢献！

## 業界最高レベルの省エネ

凝縮器効率の最適化により加熱 COP3.10 以上達成！  
排熱利用で CO<sub>2</sub> を削減し、カーボンニュートラルに貢献！

## 最高出湯温度 90℃の加熱性能

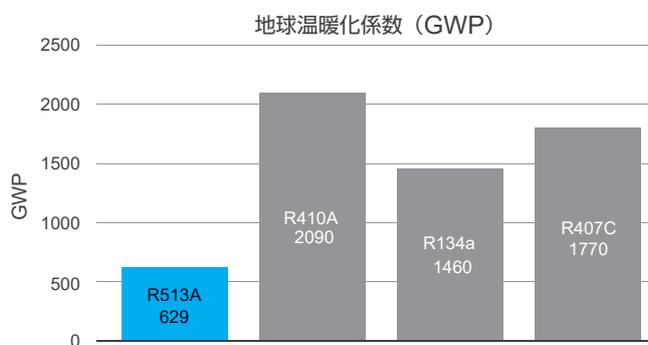
従来の熱源機器をヒートポンプに置き換え！

## 加熱能力 (24kW / 48kW)

2機種をラインナップでユースポイントでの  
分散設置可能

## 低GWP冷媒 R513A※採用

※地球温暖化係数 GWP=629



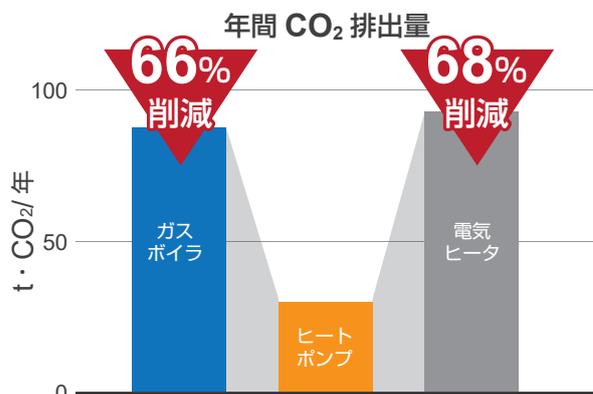
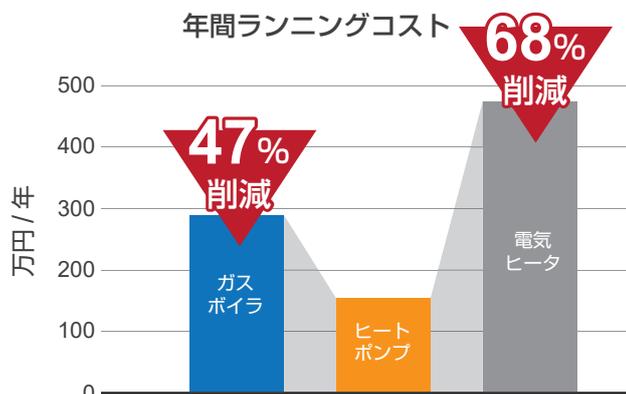
## 運転状態を監視

大型LEDで遠くからでも確認可能  
(警報時は点滅します。)



タッチパネルでカンタン操作

## 導入の効果



[試算条件]

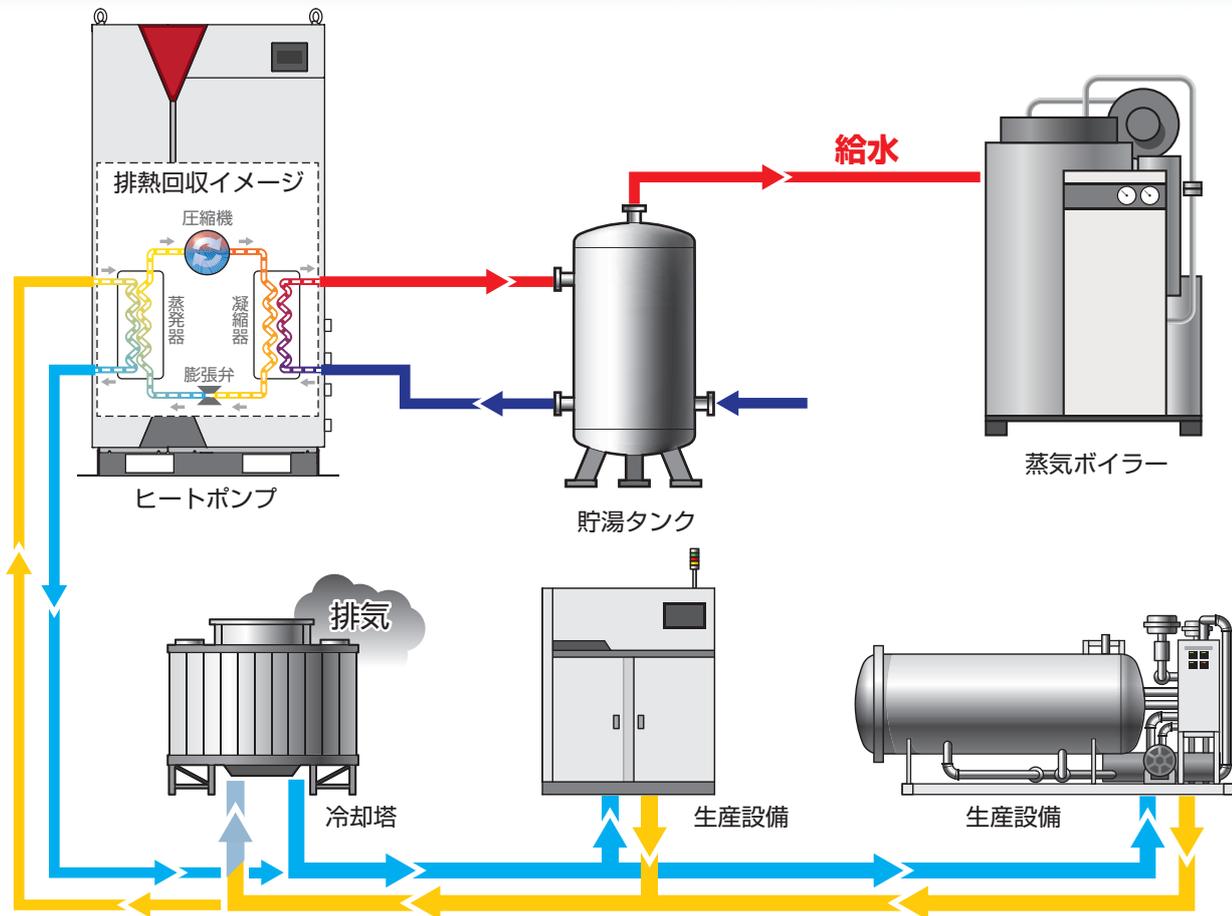
温水入口温度 60℃、出口温度 65℃、年間を通じて 23kW の熱源をガスボイラもしくは電気ヒータからヒートポンプに置き換えた場合のランニングコストと CO<sub>2</sub> 削減効果を算出。

・電力単価：23円/kWh ・ヒートポンプ COP：3.1 ・LPG 単価：98.8円/kg ・ボイラーシステム効率：50% ・稼働時間：24時間×360日  
・CO<sub>2</sub> 排出係数 (電力)：0.45kg・CO<sub>2</sub>/kWh ・CO<sub>2</sub> 排出係数 (LPG)：0.059kg・CO<sub>2</sub>/MJ

# 有効利用し、給水加温

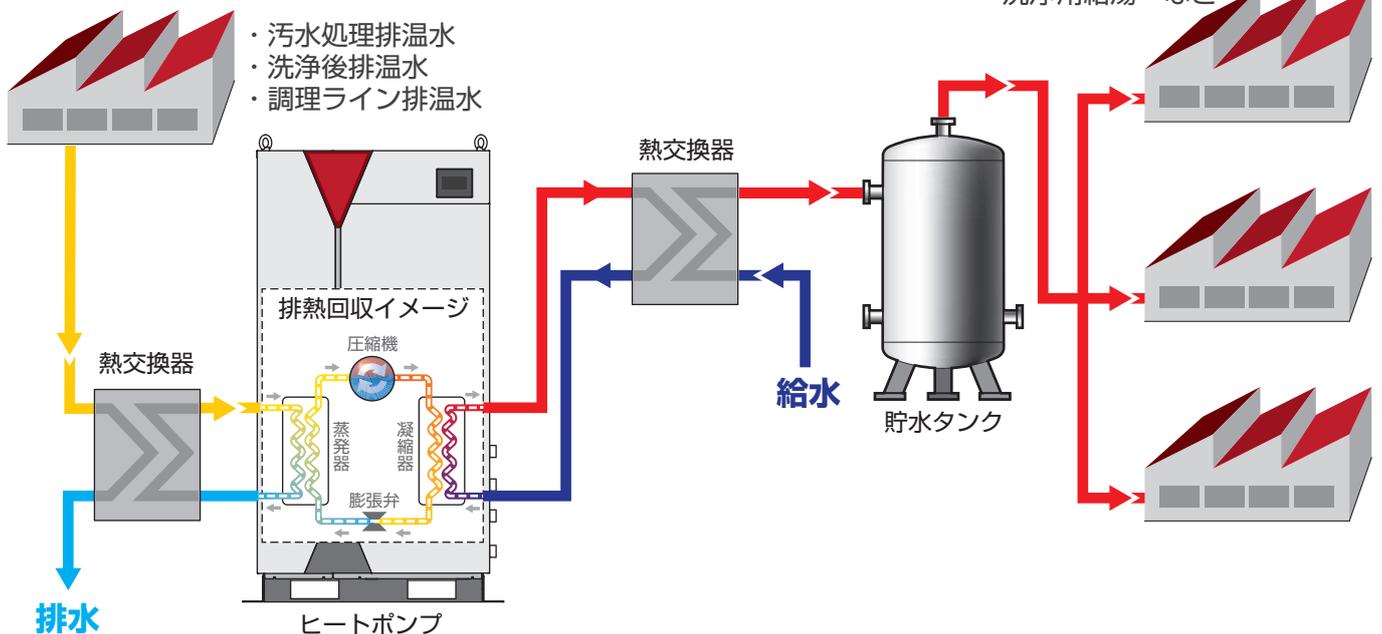
## 用途例

### ボイラー給水加熱



### 各業種への給湯利用

- ・調理用給湯
- ・殺菌工程用給湯
- ・洗浄用給湯 など



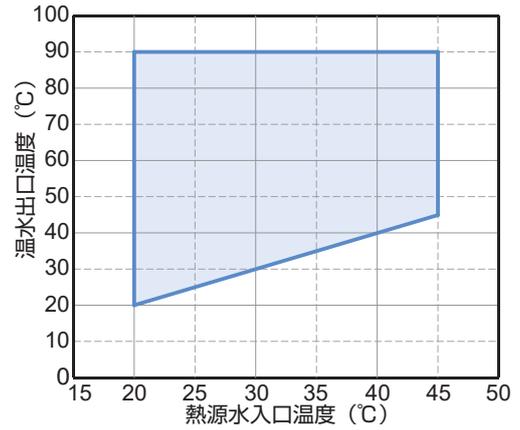
# 仕様表

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

型式		DHP24A-W	DHP48A-W	
性能	加熱能力 ※1	kW	24.2	48.7
	加熱COP ※1	—	3.1	
使用周囲温度範囲		℃	2~45	
温水	使用流量範囲	L/min	5~137	10~230
	入口温度範囲	℃	15~70	15~70
	出口温度範囲	℃	20~90	20~90
	使用最高圧力	MPa	0.5	
	出入口接続口径	—	Rc1	Rc1.1/4
熱源水	使用流量範囲	L/min	22~169	44~230
	入口温度範囲	℃	20~45℃	
	使用最高圧力	MPa	0.5	
	出入口接続口径	—	Rc1	Rc1.1/4
電気特性	電源	V(Hz)	三相200V±10% (50/60)	
	消費電力 ※1	kW	7.8	15.7
	電流 ※1	A	22.7	46.5
	電源容量	kVA	6.8	11.0
	しゃ断器容量	A	60	125
冷媒	—	R513A		
騒音値	dB	63	64	
外径寸法(高さ×奥行×幅)	mm	1700×1015×870		
製品質量	kg	494	583	

※1 温水入口温度 60℃、温水出口温度 65℃、温水流量 73L/min / 141L/min (DHP24A-W/DHP48A-W)、熱源水入口温度 20℃、熱源水出口温度 15℃

# 運転範囲

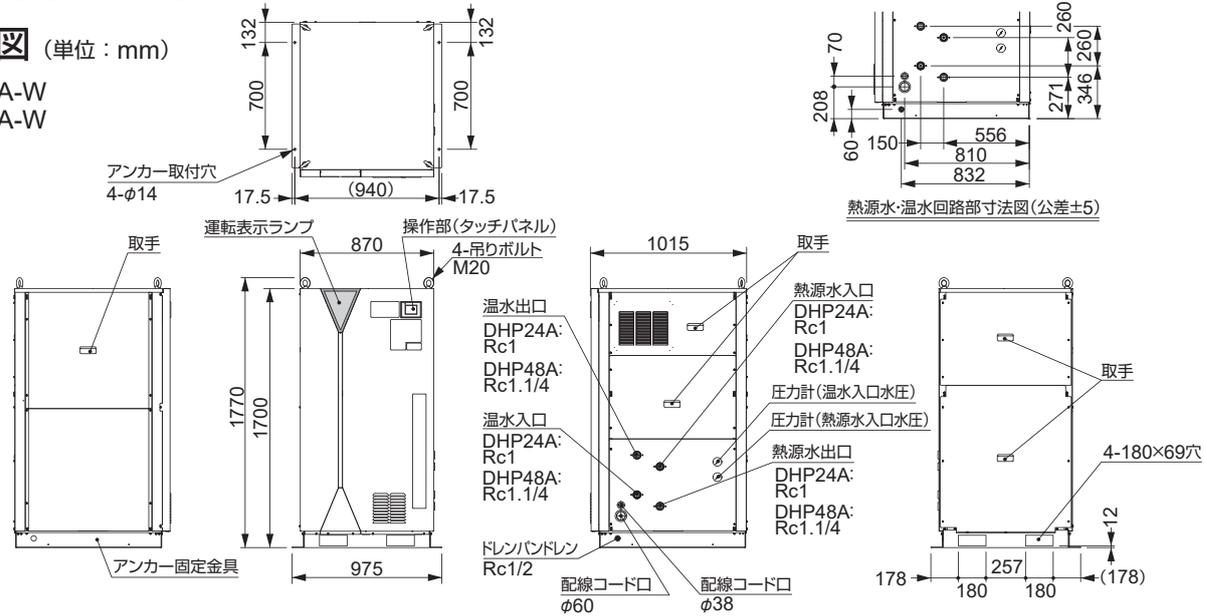


【運転条件】

温水：清水 温水入口温度：15～70℃ 湯水流量：成り行き (5～137 L/min) / (10～230L/min) (DHP24A-W/DHP48A-W) 温水出入口温度差：5℃以上 熱源水：清水 熱源水流量：成り行き 22～169L/min / 44～230L/min (DHP24A-W/DHP48A-W)

# 外形図 (単位：mm)

DHP24A-W  
DHP48A-W



## フロン排出抑制法について

- 改正フロン排出抑制法が2020年4月1日施行されました。冷媒にフロンガスを使用している当社製品は、フロン排出抑制法の「第一種特定製品」に指定されています。
- 管理者(ユーザー様)は製品のご使用時に以下の取り組みが義務付けられています。
  1. 点検：機器の点検  
冷凍用圧縮機出力が7.5kW未満は簡易点検が必要、7.5kW以上は十分な知識を有する者が定期点検を実施
  2. 記録：点検などの記録を保存  
機器点検の記録は、設置時から廃棄後も3年間保存
  3. 報告：フロン類算定と1,000t-CO<sub>2</sub>/年以上漏えいの場合は国への報告

- 製品の廃棄時フロン類回収向上のために
  - ・フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
  - ・製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
  - ・冷媒が未回収の機器を引き渡してはいけません。
  - ・機器廃棄時の書類を廃棄後3年間保存(フロン回収依頼書、引取証明書)
- 違反した場合、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられます。ご不明な点は、当社までお問い合わせください。

## ●製品使用冷媒と GWP 値

冷媒名	地球温暖化係数 (GWP)
	(100年値)
R1234yf	1未満
R513A	629
R410A	2090

※各製品に使用されている冷媒種類については各ページの製品仕様表を参照ください。

ご用命は下記へ



https://www.orionkikai.co.jp

当社製品に関するお問合せ・資料請求は

お客様相談センター ☎0120-958-076  
受付時間 平日 9時～17時  
✉sijo@orionkikai.co.jp FAX 026-246-6753

CSセンター：札幌・仙台・太田・横浜・諏訪・名古屋・大阪・岡山・福岡

本社・工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246  
更 殖 工 場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291  
千 歳 工 場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16

このカタログ内容は2024年7月現在のものです。

- 製品写真は印刷物ですので、実際の色とは若干異なります。
- このカタログ内容の機構および仕様等は、予告なく変更することがあります。ご了承ください。